

授業へのパソコン活用探る

盛岡で県教育
工学研究会 教諭ら80人参加



インターネットを使って友達同士で電子メールを交換する盛岡白百合学園高校の生徒

県教育工学研究会（菊池成夫会長）は十九日、盛岡市山岸の盛岡白百合学園中、

高校で県教育工学研究会を開いた。「マルチメディアと子どもたち」のテーマで、インターネットやパソコンを使った授業をいかに論理的に行うか、子供たち

が主体的に取り組むにはどうすべきかなどを探った。県内の小中高校の教諭や関係者約八十人が参加。講演会や研究授業、分科会などで情報交換や研究成果を発表した。

高校二年生のコンピューター選択授業を研究授業として公開。生徒たちはインターネットを使用し、実際に友達同士で電子メールのやりとりをしながらコミュニケーションの方法を学んだ。

見学した雫石小学校の佐藤卓教諭は「インターネットを教育現場で活用し、子供たちが情報収集や交流ができたら素晴らしい」と感想を話した。

分科会はインターネット

体験、活用、教材作成、校務処理、事務・保健の五コースに分かれて行われ、インターネットの活用状況を報告し、問題点などを話し合った。